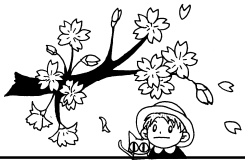


園部市長はどんな人だったのか？

ガン闘病しつつ
2017年4選をめ
ざす中、2016年
6月にガンが悪
化し無念の急死



門真市議から自民党
大阪府議へ。2005年
府議辞職して市長選
に出て東（あずま）
市長6選阻止の当選
その後2009年・013
年と3選を続けた。

自民党政治家であり、公立保育園4つの一挙民営化など、戸田が評価できない部分もあるが、輸出大企業重視でなく内需重視型、タカ派でなく穏健派で、門真市消滅の合併話に手を染めなかった。

強権ペテンの橋下維新政治や都構想には反対の人でもあった。

★2005年当選後すぐに「市長退職金ゼロ」を実施！

東市長は5期総額1億円の退職金を得た。戸田が唱えた「市長退職金大幅削減論」は「1期2000万円を300万円程度にする現実論」だったが、園部市長は全国でほとんど皆無の「退職金ゼロ」を敢行！

★2005年当選後すぐに全小中学校のエアコン設置実行！

当時の財政難の中、全国でも例が少ないこの政策実施した判断力！それから13年経った昨年夏でも学校エアコン無し・子供には暑さをガマンさせる論の自治体の多さが報じられる中、その先進性が光る！

★東市長時代とは比べものにならない情報開示姿勢！

★左翼の戸田の提起も受け入れて、行政システム改善。

全国的先進の反ヘイト人権施策・脱関電の電気契約で年間540万円節約・公共工事検査や契約の品質向上等々

★自治基本条例や地域通貨などの先進的自治政策導入、

中学生オーストラリア派遣ありの英語スピーチコンテストなど、子供達に夢を与える政策の実施と継続

（地域通貨は継続できなかったが、先進的チャレンジだった）

・・・トータルに見れば「先進的善政を実施した名市長だった」、と言ってよいと思う。



市役所内外に残る「東市長の集票利権構造」打破の闘いに、側近議員少数・面従腹背勢力多数の園部市長はかなり苦勞した。

●市民に反発を受けた「門真まつり廃止」の真の理由は従来の反民主的で利権がらみの運営体制の刷新だったが、それは公表できない事だった。（戸田のみがHPや議会等で指摘）

●また園部市長には「いかにも自民党的な金銭体質」も残っており、それが維新派やマスコミに突っ込まれる要因にもなったと思う。

2013年以降、マスコミ大動員でありとあらゆる口実で袋叩きにされまくった園部市長。いわれ無き非難を右翼車大音響の嵐として自宅で浴び続ける中でガン悪化急死！さぞや無念だったと思う。痛ましい事だ。合掌。

こういう分析論評を市民に伝える議員は戸田しかない、というのが門真市議会の残念さ。「戸田議員」は市民の大事な情報ソースです！

光亜興産はどんな会社か？

端的に言えば、

【1】門真で別格の、こわもての、「顔役」企業で、全国的な政治力も持つ土地開発のベテラン企業。

【2】常にその時々^のの市長と二人三脚で門真市のまちづくりを進め、上手にもうけつつ手堅い仕事をしてきた「地域貢献企業」。

【3】ほかのチンケな開発会社が門真を喰い荒らす事への「抑止力」ともなってきた。

◆光亜に不当行為がある時に厳しく名指し批判してきたのは戸田だけ！

そんな光亜だから、共産党も議会で問題にする時は会社名を出さず、「腫れ物に触る」ような扱いをしてきた。（トボス問題勃発までは）

★しかし戸田は違う！光亜会長が門真市消滅合併の推進者になった2002年～04年には光亜の社名どころか会長の氏名と顔写真入りのビラで厳しく批判し続けた！

こんな事をしたのは戸田だけ！

トボス問題では何ら不当さが無いので批判しなかったが、同時期の★2013年末に市民通報で「門真市職員への過去の接待旅行」が分かったので、これは12月議会で厳しく追及して市の謝罪と職員処分を引き出した。

ただ、この戸田の正当な追求は、マスコミや共産党らには「トボス補償非難」に絡めて光亜と園部市政を攻撃する材料にすり替え利用された。

←この新聞記事はその一環として共産党の福田議員ブログにアップされたものの一部だが、福田議員はこれが戸田の追求によるものである事を全く書いていない！非常に汚い「他人の成果のすり替え利用」だと怒りを感じる！

▲「戸田は光亜から金をもらったので光亜追求をしない」とのデマに怒る！

この接待旅行問題は議会とHPで膨大な労力を要したゆえに街頭宣伝する余裕はなかったが、それをいい事に上記のデマが流され、市民も「戸田は何にも光亜追求をしていない」、「ああやっぱりね」、とだまされてしまう！

▲不正でない事を不正であるかのように騒ぐ共産党らが高く評価され、不正をきっちり追求する戸田が不当に評価される不条理よ！

